令和８年７月八戸市教育委員会定例会　会議録

開催日時　　令和８年７月 28 日(火)　午後１時 30 分

場　　所　　八戸市庁本館３階　議会第四委員会室

出席者	教育長	齋藤　信哉
	教育委員	西山　康巳
	教育委員	小澤　直子
	教育委員	久保　千恵子
	教育委員	福井　武久
事務局出席職員	教育部長	三浦　順哉
	教育部次長兼教育総務課長	松橋　広美
	教育部次長	佐藤　公一
	教育部副理事兼社会教育課長	高橋　宣子
	博物館長	小保内　裕之
	学校教育課長	石丸　昌克
	教育指導課長	栁谷　貴広
	是川縄文館副館長	加藤　公
	総合教育センター所長	鈴木　悟
	こども支援センター所長	大久保　洋二
	図書館長	磯嶋　奈都子
	学校教育課参事	佐々木　孝
	学校教育課参事	春日　貴子
	総合教育センター副所長	田端　修文

開　　会

（齋藤教育長）

定刻となりましたので、令和８年７月教育委員会定例会を開会します。

はじめに出席した主な会議・行事等については、配付している資料のとおりとなっておりますので、後ほど御確認ください。

主な会議・行事等

（齋藤教育長　資料配付により報告）

（齋藤教育長）

本日の議事録署名は、小澤委員を指定します。

これより、本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第 32 号「天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保存活用計画検討会議委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第 32 号　天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保存活用計画検討会議委員の委嘱について

（高橋教育部副理事兼社会教育課長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第 32 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第 32 号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第 33 号「八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

議案第 33 号　八戸市図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

（磯嶋図書館長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

〔質疑なし〕

それでは、議案第33号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第33号を原案のとおり決定いたします。
次に、議案第34号「令和９年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

議案第34号　令和９年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について
（鈴木総合教育センター所長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）
ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。
〔質疑なし〕

それでは、議案第34号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
〔異議なし〕

御異議がありませんので、議案第34号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。
次に報告事項にまいります。

【令和８年度第１四半期の業務報告について（質疑応答）】
はじめに、「令和８年度第１四半期の業務報告について」は、事前に資料が配付されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたら、お願いします。
〔質疑なし〕

【令和８年度第２四半期の主な事業予定について（質疑応答）】
次に「令和８年度第２四半期の主な事業予定について」は、事前に質問をいただいております。
７ページ「校内教育支援センター支援員配置事業」について、西山委員からお願いいたします。

（西山委員）
それでは、７ページの青少年グループ「校内教育支援センター支援センター支援員配置事業」について質問いたします。成果と課題ということで言うと、報告の方での質問になろうかとは思ったんですが、今後についてもお聞きしたいと思ったので、後半の方に回しました。
校内教育支援センターについて、学校訪問等で対面して伺う中で、結構活用されている状況を拝見しました。子どもたちが、居場所をしっかり捉えて、そこで活動できているという状況が非常にありがたいと思って参観してきました。これまで、各学校での校内教育支援センター支援員

配置校での運営状況と効果、課題があったらお知らせいただきたいというのが１点目です。
さらに、現在、配置校が中学校で５校、それから今後小学校に５校配置されるということで示されていますが、施設設備を整えるのはもちろんのことですが、そこを運営していく人の配置が非常に大きい部分を占めるなと感じています。今後、支援員の増員等の見通しがあればお知らせいただければと思っています。２点、どうぞよろしくお願いいたします。

（齋藤教育長）
ただいまの質問につきまして、事務局からの説明をお願いします。

（栁谷教育指導課長）
西山委員の御質問にお答えいたします。「校内教育支援センター支援員配置事業」につきましては、昨年度７月より中学校５校に支援員を配置してスタートいたしました。中学校におきましては、今年度も４月より５校で継続して支援員を配置しております。これに加えまして、小学校につきましても、今年度７月１日より５校に支援員を配置し、現在は中学校５校と合わせて計 10 校に支援員を配置しております。
その運営状況と効果についてでございますが、昨年度は、中学校５校において配置開始から本年３月までの実利用者数が 40 人、延べ利用者数が 3,381 人となっております。また、今年度につきましては、４月から７月までの中学校５校での実利用者数が 40 人、延べ利用者数が 880 人となっており、昨年度に引き続き、多くの生徒が利用している状況でございます。
一方、小学校につきましては、７月のみの集計とはなりますが、小学校５校での実利用者数が 28 人、延べ利用者数が 221 人となっております。このことから、小学校においても支援の必要性が高く、今後さらに実利用者数と延べ利用者数が増加するものと予想しております。
次に、未配置校からの支援員配置の要望と今後の支援員の増員の見通しについてでございますが、未配置校の教職員からも校内教育支援センターへの支援員配置を望む声を多数いただいているところでございます。今後も各種補助金等を有効に活用しながら、支援員の増員と校内教育支援センターの環境整備の充実に努めてまいります。さらに、現時点で支援員を配置している学校を、他校の児童生徒も利用できる仕組みの構築や、拠点型の校内教育支援センターの整備につきましても、他都市の先進事例を参考にしながら研究を進めてまいります。

（西山委員）
丁寧に回答いただきありがとうございました。先日視察研修で仙台市の施設や夜間中学校、私立小学校を見学し、研修してきた訳なのですけれども、やはりどこの施設についても、しっかり人が配置されていて、丁寧に子どもたちを見取っているというところが、効果を上げている部分だと感じて見てきました。
八戸市でも、こども支援センターを始め、それらの指導や支援を受けて各学校の校内教育支援センターで、不登校・不登校傾向の子どもたちに対応しているところだと思うのですけれども、今の回答にあったように、各学校から非常に要望が多く、その傾向の子どもたちの人数も増えているということですので、今後更に人員配置なども含めて丁寧な対応をお願いしたいと思い質問

しました。ありがとうございました。

（齋藤教育長）
まだまだこれから検討して、実践的に進めなければならないものがたくさんあります。先ほど教育指導課長からもありましたように、当市にとっても大きなヒントになったのが、いわゆる「拠点校方式」というものを今後市内でも導入できないかなと考えています。その拠点校方式が、将来的には「学びの多様化学級」の方に進んでいけば、支援員というものが教員の定数の中に入って配置できるというメリットもありますので、そういったこともこれから検討していく必要があるのではないのかなと思っておりました。
いずれにしても、この不登校問題というのは当市にとって最優先の課題として捉えております。子どもたちの居場所づくりをしっかりやって、不登校の減少にこれからまた取り組んでいきたいと思っております。
そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

（久保委員）
校内教育支援センターについての感想なんですけども、７月１日から小学校５校配置されたということで、夏休み前のわずか１か月に、28 人の子どもたちが利用していたということで、居場所を模索しながら学校の方に通っているかと思います。１か月の夏休みが始まりましたが、１か月後に、またしっかり校内教育支援センターの教室に戻って学校で学べるように、家庭の方にもお声掛けいただいたりして、体制を作っていただければなと思いました。

（栁谷教育指導課長）
夏休み中も各学校においては、生徒と連絡を取りながら、２学期からの生活に見通しを持たせるということをやっております。各学校で、三者面談や保護者面談を含めて実施していますが、それぞれの課題や要望を丁寧に把握し、家庭と協力しながら学びを進めていきたいと考えております。後は余談になるかもしれませんが、実は校内教育支援センター支援員が配置されてない学校でも、できたら別の学校の支援センターを活用できないかという相談も来ているので、それにつきましては丁寧に研究・検討しながら進めていければと考えているところです。

（齋藤教育長）
そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。
［質疑なし］

それでは次にまいります。「（仮称）八戸市新学校給食センター整備・運営事業の事業者公募について」事務局からの説明をお願いします。

【（仮称）八戸市新学校給食センター整備・運営事業の事業者公募について】
（石丸学校教育課長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）
ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。
〔質疑なし〕

次に「『青少年のための科学の祭典 2026』第 30 回記念八戸大会について」事務局からの説明をお願いします。

【『青少年のための科学の祭典 2026』第 30 回記念八戸大会について】
（鈴木総合教育センター所長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）
ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。
〔質疑なし〕

次に「『野鳥だより』刊行記念 特別展示「八戸近郊の野鳥写真展」の開催について」、「夏のおはなし会『みんな大好き、こわ～いおはなし』の開催について」、「市民のための歴史講座の開催について」及び「『第 16 回八戸市 図書館を使った調べる学習コンクール』の開催について」の４件は、図書館からの報告事項となりますので、併せて事務局からの説明をお願いします。

【野鳥だより刊行記念 特別展示「八戸近郊の野鳥写真展」の開催について】
【夏のおはなし会「みんな大好き、こわ～いおはなし」の開催について】
【市民のための歴史講座の開催について】
【「第 16 回八戸市 図書館を使った調べる学習コンクール」の開催について】
（磯嶋図書館長　資料に基づき説明）

（齋藤教育長）
ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。
〔質疑なし〕

そのほか、事務局から報告事項はありますか。
［なし］

事務局からは以上のようです。
それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

（小澤委員）
私からは、児童における水難事故防止の指導について一つ質問させていただきたいと思います。先日、白銀地区では、児童向けの着衣水泳教室が行われたということでしたけれども、八戸市内

の小・中学校における児童の水難事故の防止指導について、１学期中に、もしくは夏休みに向けて行われた具体的な指導内容や実施状況をお伺いさせていただきたいと思います。

（栁谷教育指導課長）

小澤委員の御質問にお答え申し上げます。市立小学校におきましては、１学期に 27 校が水泳の実技指導を行っております。実施状況につきましては、自校のプールでの実施が 16 校、公共施設での実施が３校、民間施設での実施が８校となっております。その中で、施設の状況や児童の実態に応じて、着衣泳を実施した小学校では、衣服を着た状態で水中での動きにくさや泳ぐことの難しさを体感し、ペットボトルなどを使って浮いて救助を待つ練習を行っております。

また、適切な水泳場の確保が難しい小学校及び中学校におきましては、水泳や水辺の事故防止に関する心得について、必ず取り上げて指導をしております。具体的には、教師による座学での指導や動画を活用した指導、全校集会等での夏休み期間の河川等水難事故防止の指導、夏休み前の参観日の懇談会で保護者への啓発等、各学校で工夫して実施しております。中学校におきましては、保健分野の応急手当との関連を図り、その意義について学んだり、心肺蘇生についての実習を行ったりしております。

（小澤委員）

丁寧な御回答ありがとうございました。冒頭に教育長から「事故のない夏休みを」というお話がございましたけれども、夏休みに入りまして、事故や事件等のトラブルに加えて、やはりプールや海、川の水難事故に対する心配は大変大きいと思われます。それでも各小・中学校でも、水難事故に対する大変充実した十分な指導をしてくださっているということに安心させていただきました。

最近は様々な事情でプールの授業が減り、そして子どもたち自身が水中で自分の命を守る体験も減り、水辺で遊ぶ危機感というものが持てない子も多くなってきているのかなと思っておりました。実際に子どもたちが肌で水を感じながら、楽しく遊び、または命を自分で守る方法を習得できる、そういった体験授業が取り入れられていることを大変安心してお伺いさせていただきました。引き続きお願いしたいと思っております。

夏休み前にも各小・中学校で、水難事故も含めて夏休みの過ごし方ということで、テトル等を通して注意事項等が配信されているようで、そういった十分な指導はしていただいてはおりますが、例えばこれから夏休み中に猛暑が続いたり、またお盆のレジャー時期の前であったり、あとは台風などの気象情報等で海や川が危険な状態にあるなど、様々な場面でタイムリーな注意喚起が極めて効果的なのかなとも思っております。夏休み中も引き続きテトルを使うなどしながら、時期や状況に合わせたタイムリーなメッセージを配信して注意喚起をしていただくとともに、見守りの情報提供など地域の方々とも連携しながら、事故、けがのない楽しい夏休みを過ごしていただきたいなと願っております。

（齋藤教育長）

白銀小学校での着衣泳の記事が紹介になりましたけれども、夏休み前に水難事故防止のための着衣泳というのは大変有効な手段だと思います。一方で、なぜこれがあまり進まないかという理由もちゃんとありまして、一つは、着衣泳と言うと衣服を着たままなので、衛生上の問題があるだろうということ、それから２点目は、プールの水って塩素が入っていますので、どうしても色落ちするということもあって、なかなかプールを使っての着衣泳が定着してないのが理由にあります。

ただし、やはり最近はそれ以上に子どもたちの命を優先すべきということで、だいぶ進んできましたけれども、実施する時期が、プール納めの時に実施するという学校もあります。様々な課題を持ちながらも、今回白銀小学校でやったというのは大変良いなと思っておりました。

もう一つは、海を使って遊泳をする際に、当市もそうなのですが、離岸流というものが、どういうものかということを子どもたちにしっかり教える必要があるだろうなと感じます。人間の力だけではどうにもならない、流れに任せたままどんどん沖に流されていくといった現象があるみたいですけれども、八戸の海岸通りは離岸流がたくさんあるという話を聞いていましたので、そういったことを具体的に指導していくのもまた大事だと思います。

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

（久保委員）

学校給食グループにお礼を述べたいと思います。冒頭でも教育長からお話があったのですが、６月 25 日の地震の影響で、学校給食に影響がありました。１週間ぐらい各家庭でお弁当を持参しまして、その後は、食器を持参して、給食を提供いただいていたという形になっていました。とても大変な中で、また更に検討していただいて対応してくださったこと、大変感謝申し上げます。ありがとうございました。夏休み明けには改善されて、また元どおりの給食が提供されるということで、これからまた大きい地震が夏休み中に来るかも分かりませんが、どうぞ安心・安全を最優先に、引き続き復旧に取り組んでいただければと思います。

（齋藤教育長）

まずはそう言っていただいて本当に感謝申し上げますが、一番は学校給食グループのリーダーを中心に、給食グループのほか、給食センターの職員の皆さんのおかげで、食器の持参やおかずの一部持参というところもありましたが、何とか子どもたちに給食を提供できて本当にありがたかったなと思っています。こうしたお声をいただくと私たちも大変励みになりますので、夏休み中に復旧のめどが立っていければいいのですが、まだ不透明なところもありますので、まずはしっかり復旧の様子を伺いながら、また２学期の再開に向けて頑張っていきたいと思います。

（齋藤教育長）

そのほか、委員の皆様方から何かございますか。

〔なし〕

閉　　会

これをもちまして令和８年７月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

（午後２時 20 分閉会）